

景観形成助成金事業について

城下町の良好な景観形成を図るため、町並み景観の維持向上となる建築工事等を行う際に、費用の一部を助成しています。

助成の際には、良好な景観の形成のため景観アドバイザーから助言をいただいています。

○対象となる建築物等

- ・景観重要建造物の指定を受けた建築物
- ・歴史的建築物の指定を受けた建築物
- ・景観形成促進地区内の建築物及び工作物 等

ただし、景観計画に定めるルールに適合する等、一定の条件を満たす必要があります。

○助成金額

助成対象行為の区分		助成率	限度額
特に良好な景観を形成するうえで重要な建築物の保全のための行為	主要構造部の整備に係る費用	1/3	合計額 300万円
	道路から見える部分の修景に係る費用	2/3	
その他の建築物の建築等の行為	外観を変更することとなる修繕又は模様替えて、道路から見える部分の修景に係る費用	1/2	150万円
	新築、増築、改築又は移転で、道路から見える部分に係る費用	1/3	100万円
工作物の建設等のうち、門、塀等周囲の良好な景観形成に必要な行為	道路から見える部分に係る費用	1/2	50万円

○景観アドバイザー

- ◆清水 隆宏 氏（愛知工業大学准教授）
- ◆石田 隆 氏（グラフィックデザイナー）
- ◆梅田 佳和 氏（犬山市建築設計事務所協会会長）

○令和 6 (2024) 年度助成実績 2件

① 住宅(練屋町)【歴史的建築物候補】

所在地:犬山市大字犬山字東古券

建物:明治39(1906)年建築 木造 2 階建て

行為の概要:日本瓦の葺き替え。左官壁の塗替え。

外部木製造作の修理。その他修景行為。

修景にかかる工事費:6,220,093 円

助成額:3,000,000 円

(助成率 道路から見える部分の修景にかかる
費用 2/3 かつ上限 300 万円)



修景前



修景後

② 住宅(中々切北)【歴史的建築物】

所在地:犬山市大字犬山字西古券

建物:大正9年(1920年)建築 木造2階建て

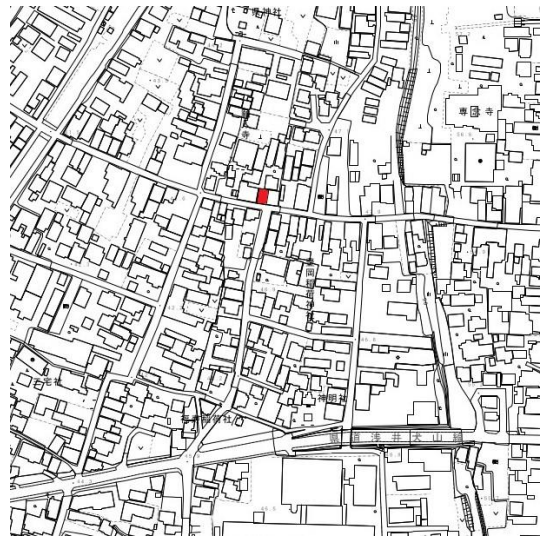
行為の概要:外壁の取替え。外部格子の取付け。

玄関扉、窓の交換。

修景にかかる工事費:4,683,508 円

助成額:3,000,000 円

(助成率 道路から見える部分の修景にかかる費用
建築物 2/3 かつ上限 300 万円)



修景前

修景後

